

ようこそ、
小平市議会の皆さん！

古賀市議会の 議会改革の取り組み その歩みと今後の課題

	小平市	古賀市
人口	192,584人	58,730人
世帯数	91,177世帯	24,858世帯
面積	20.51k㎡	42.07k㎡
人口密度	9,389.76人/k㎡	1,396.01人/k㎡
議員数	28人	19人

(6月1日現在) (5月末日現在)

2018年7月12日(木)
古賀市議会

2018年度の視察(8議会)

- ① 4月17日(火) 東京都葛飾区議会
- ② 5月14日(月) 兵庫県南あわじ市議会
- ③ 5月16日(水) 広島県尾道市議会
- ④ 5月21日(月) 福岡県糸島市議会
- ⑤ 7月9日(月) 東京都荒川区議会
- ⑥ 7月11日(水) 愛媛県四国中央市議会
- ⑦ 7月12日(木) 東京都小平市議会
- ⑧ 8月20日(月) 茨城県結城市議会

2015年度 14議会(132人)
2016年度 15議会(144人)
2017年度 27議会(219人)

今期
63議会

今日お話しする主なテーマ

<前半>
(1) 事前に頂いたテーマについて
◆ICT活用、議会中継、政策推進会議、
パートナーシップ協定、自由討議、
議会BCP、反問権
※質疑応答

<後半>
(2) 議会改革の経緯
◆議会基本条例制定など
※質疑応答

タブレットの活用

資料をPDFファイルで提供
●2013年3月議会以降
議運メンバーで霧島市議会の先進事例を視察研修
●2013年7月(政務活動)
議運で逗子市議会のタブレット活用を視察
●2014年7月29日
9月議会最終日に報告。執行部に早期検討を提言。

Googleドライブ活用
①定例会に関するデータ
②常任委員会のデータ
③議会スケジュール
④議会関係条例、規則
⑤記者発表資料
⑥写真データ
議会事務局が各種データをアップしています

いつでも、どこでも閲覧可能
所属以外の委員会資料の入手
バイナリー持参は不要に
ペーパーが必要な時も

本会議、委員会へのパソコン等の持ち込みを許可
すでにほぼ全議員が活用しています

逗子市議会の視察風景

議会中継

視察テーマ2

2012年6月議会からインターネット中継・録画配信を始めました。

2016年4月からスマホ、iPadでも中継・録画を見ることができるようになりました！

議会トピックスでリアルタイムの議会情報発信

委員長報告も掲載
付託議案の審査結果
閉会中の所管事務調査

議会中継

●2015年6月議会以降
補正予算審査特別委員会
決算審査特別委員会
議員全員の特別委員会も
中継・録画配信を開始

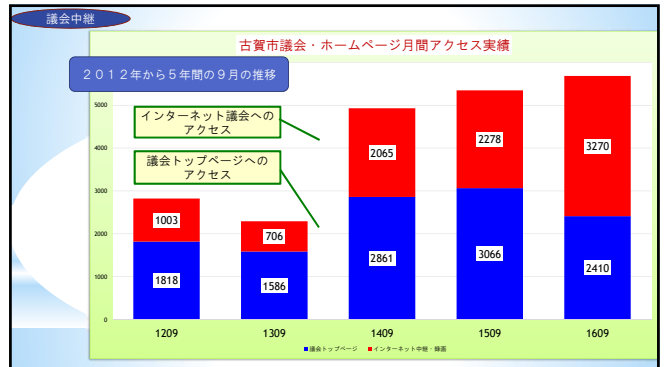
予算審査特別委員会のインターネット中継開始
(2015年3月9日)

議会中継

70インチモニター 議場内に3基

書画カメラ (2013年～)

一般質問
書画カメラを活用し
モニターにグラフを表示
iPadからのデータ映写も可能



視察テーマ3

政策推進会議

政策推進会議全体会の様子

議員間の討議を積み重ねました

政策課題の発表会

提言に向けた議員間討議

議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

政策推進会議運営要綱

- (所掌事務) 政策課題の決定、調査研究の実施、政策的条例案の策定、市長に対する**政策提言**の報告
- (役員会) 副議長及び各会派から選出された者で役員会を置く。
- (役員会の所掌事務) 政策課題の募集及び選定、政策課題発表会の企画及び実施、議会報告会を受けた政策課題の発意、緊急性および必要性が高い政策課題の発意

政策推進会議

前期の政策推進会議役員会の活動
古賀市議会災害対応要綱を策定

熊本地震はこのレベル

「災害対応要綱」

- ①警戒本部第1配備
局長が議長に報告
- ②警戒本部第2配備
議長は副議長、総務正副委員長を招集
- ③災害対策本部
議長は議会災害対策会議を設置(正副議長、議運と各常任正副委員長)
- ④所掌事務
安否及び居場所確認、災害情報の集約、市対策本部への情報提供、市対策本部からの情報の議員への提供
※議会事務局職員は議会の対策会議の事務に従事することになった。

前期

政策推進会議は各会派選出メンバーで構成議長はオブザーバー役員会でまとまったことは全体会で協議確認します

業務継続計画は議運答申をもとに協議し全協で承認します

政策推進会議

政策テーマ発表会

今期の政策推進会議

政策推進会議
政策テーマ選定に向けて発表会を実施
(2015年10月19日)

地域公共交通をテーマに決定各会派・議員等で公共交通の構想(案)を提出し議員間討議を実施

政策推進会議

バス乗務員から説明を聞きました

バスの中でアンケートに記入する高校生

乗客から直接聞き取りもしました

朝夕は通勤・通学が多かったです

2016年8月上旬
全議員が市内の路線バスに乗りして
現状調査を行いました。

政策推進会議 制度改革を活かした最近の初歩的な経緯

わざわざ切手を貼って郵送してくれた方もたくさんいました

994件のうち約4割の回答にはご意見がびっしり記入されていました

2016年8月～9月10日
公共交通に関するアンケート
私たちの予想を遥かに超える
994件の回答が寄せられました

994件の回答をパソコンで集計

政策推進会議

政策推進会議全体会の様子
各会派・議員からの提案や議員間の討議を積み重ねました

政策推進会議

平成27年3月22日

古賀市長 中村 雅彦 君
古賀市議会 議長 藤村 弘樹
古賀市議会 副議長 池田 英樹
議長 藤村 雅彦

<<古賀市の公共交通事業の進捗に向けての提言>>

古賀市は公共交通事業の進捗が著しく、市民生活の利便性が向上している。しかし、高齢者や障害者の移動の利便性をさらに高める必要がある。また、災害時の避難手段としての公共交通の役割を強化する必要がある。以下に、古賀市の公共交通事業の進捗に向けた提言を述べる。

- ① 高齢者の移動支援の強化を図る。高齢者専用車両の導入や、高齢者割引の拡充などを行う。
- ② 障害者の移動支援の強化を図る。障害者専用車両の導入や、障害者割引の拡充などを行う。
- ③ 災害時の避難手段としての公共交通の役割を強化する。災害時の避難ルートとしての公共交通の役割を強化する。

15

政策推進会議

最終報告・提言のまとめ部分
(2017年3月2日提出)

一般会計予算に対する「決議」
(2017年3月27日可決)

西日本新聞報道
(2017年4月9日)

バス減便 古賀市議会反発

高層者の足確保へ提案

政策推進会議

政策推進会議
2017年度のテーマは「防災」

政策推進会議勉強会(9月26日)
粕屋北部消防本部の九州豪雨被災地救援派遣活動の報告会

政策推進会議全体会(9月26日)
各議員、会派から問題提起
防災基本条例の必要性などをめぐり議論

鴻巣議長協議会議員研修会(10月24日)
熊本県益城町の危機管理課職員を講師に学ぶ

パートナーシップ
視察テーマ4

議会と大学のパートナーシップ協定
2月24日に協定書締結並びに記念講演

福岡女学院看護大学

古賀市議会

市と大学の包括的連携

健康寿命延伸に向けた学生の地域活動

公民館でのヘルスステーション

災害対応

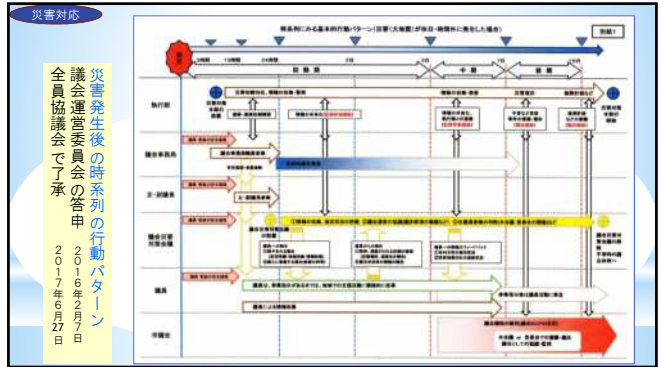
防災グッズの整備

サバイバルローラーバック
3日間の飲料水や食料をはじめ携帯ラジオ、簡易トイレ、防寒用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセット。22リットルと大容量で保冷・保温機能を備え、かつ、貯水タンクとしても活用することができます。

折り畳み式防災用ヘルメット
議員及び議会職員に配備
議員39個、執行部及び議会局職員40個

収納時
展開時
議員氏名、血跡型、緊急時連絡先を明記

古賀市議会議会運営委員会は、災害発生時の議会としての業務継続計画(BCP)の策定に向けて、滋賀県大津市議会の先進事例を調査研究しました。
2016年10月14日



災害発生時の本会議運営マニュアル

議会運営委員会の答申
2016年2月7日
全員協議会です承
2017年6月27日

ケース	定例会の時期	議長	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
1	定例会開催中	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
2	定例会開催前	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
3	臨時議会開催中	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
4	臨時議会開催前	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
5	臨時議会開催後	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行
6	臨時議会開催後	議長 議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行	議長代行

反問権

反問権付与

議会基本条例で反問権付与を規定

●基本条例 第9条第2項
議会の会議及び委員会において、市長等は、議員の質問、政策提言、議員提出議案等に関し、議論を深めるため、議長又は委員長の許可を得て、当該議員に対し反問することができる。

確認書(抜粋)

- 反問の内容が、議員が行った質問・質疑の範疇から逸脱していると議長もしくは委員長が判断したときは発言を中止できる。
- 一般質問ならびに施政方針質疑で反問に対する議員の答弁時間は、持ち時間に算入しない。
- 市長等は、反問権を行使するときは論点、争点を明確にするという趣旨を十分踏まえるものとする。

議会基本条例で定めた反問権等の運用について議長と市長で確認書に調印 (2014年3月27日)

2017年6月議会で中村隆象市長が初めて行使

前半の質疑応答

議会改革

主な流れ

模索 改革の模索 市制施行(1997年)を契機に
●「議会だより」の発行 ●議会閉会中の所管事務調査
●一日一委員会の開催 ●議長裁量による一問一答

検討 検討の着手 活性化特別委(2010年)や議運
●議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長による研修会
●特別委最終報告「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

実現 議会改革の実現 2011年5月の新体制発足による
●議会基本条例策定を掲げた議長の所信表明
●インターネット中継、議会基本条例の施行、改革度九州沖縄1位
●災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着 議会改革の定着・継続 2015年5月以降の今期
●改選後の新たな体制による議会改革の定着、継続
●まち・ひと・しごと地方創生への対応 ●スマホ、iPad対応

所信表明

改革の検討から実現へ

前期議長（奴間健司）就任の所信表明（2011年5月）

第1に、魅力と誇りある古賀市を目指す。古賀市の持てる特徴を最大限に生かし、市民の皆様への幸せ、環境、福祉、子育て、教育、そして産業振興など魅力あるまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

第2に、開かれた議会の充実を目指す。議会だよりの充実や議会のインターネット中継、録画の配信、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組む。

第3に、議会の役割を発揮するために努力。議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定について取り組む。

第4に、民主的な議会運営。日ごろからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定期開催、必要に応じた党派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

第5に、議会事務局の充実。議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向けて配慮する。

議会改革

前期4年間の主な取り組み

2011年5月 2012年5月 2013年5月 2014年4月

インターネット中継検討 → 中継実現 → 議場モニター、委員会室カメラ

議会基本条例検討・可決 → 施行準備 → 施行・自由討論

検討に2年間 施行準備に3か月 → 補正特別委、発言通告制、ボタン表決

8回 議員全員を対象とする研修会実施

500回 式典、イベント、各団体総会等での議長挨拶

200回の正副議長局長定例会議、月1回の議員連絡会

定例議会の前後に市長、副市長との協議の場

7月初の議会報告会

災害時議会対応要綱

パブリックヒアリング

3月予算特別委の中継
議会情報発信委員会

※ 事務局活動費条例
・会費規則改正
・議決花火焼酎条例
予算編成修正

政務活動費

政務活動費の収支報告をインターネット公開しました
(2015年1月21日)

2013年2月、政務活動費交付条例の全部を改正
使途範囲を拡大せず、議長による透明性確保義務も明記

2014年度分から領収書・収支報告・調査報告をインターネット全面公開へ

基本条例

議会基本条例の制定、施行に向けた取り組み

議会基本条例等調査特別委員会設置（2011年6月22日）

先進地視察 | ワーキングチーム | 市民アンケート | パブリックヒアリング

田中孝男先生研修会 | 案審検討小委 | 条例案検討小委 | 市民説明会

議会基本条例等調査特別委員会最終報告（2013年3月26日）

議会基本条例案議員提案（8人、2013年6月6日）
賛成多数で可決（13:5、6月19日）

議会基本条例施行準備会設置（2013年8月22日）
答申（2014年3月20日）

議会基本条例施行に向けた会費規則改正案
全会一致で可決（2014年3月27日）

議会基本条例施行（2014年4月1日）⇒議会報告会

2年間の検討

8ヶ月の準備

実践

この8ヶ月間の経験が大きな特徴でした

● 会費規則改正
● 議会報告会実施要綱
● 政策推進会議運営要綱
● 議会全員協議会規定

議会報告会

議 会 報 告 会

11月14日 土

リーバスプラザ大会議室
19:00~20:30

古賀市の話

古賀市のこと、一緒に古賀市民へ

2017年度は11月18日、19日に3会場で開催

今期
→ 今期第2回目の議会報告会
2016年10月22日(土) 23日(日)

← 今期第1回目の議会報告会
2015年11月14日(土)

みんなの声を行政に、古賀市議政と語りましょう!

今の古賀市、未来の古賀市

議 会 報 告 会

今年は3カ所で開催

10月22日 10月22日 10月23日
リーバスプラザが 米多比呂重蔵 千原真
19:30~ 18:30~ 18:30~

議会報告会

議 会 報 告 会

今期第3回目の議会報告会
(2017年11月18日、19日)

前期
2014年7月20日・リーバス

会場の全景

年度	参加者数
2014年度 3会場(7月)	103人
2015年度 1会場(11月)	18人
2016年度 3会場(10月)	70人
2017年度 3会場(11月)	46人

初の議会報告会に103人が参加、よかったと評価
● 7月18、19、20日の議会報告会に市民103人が参加
● アンケートには開催を評価する声が入る

議会報告会

各常任テーブルとの対話 40分

各常任テーブル、決算、政策推進会議報告会 20分

全体質疑 10分

2017年11月18日 古賀東区公民館

2017年11月18日 花見東1区公民館

2017年11月19日 青柳区公民館

議会報告会

各常任テーブルとの対話

各常任テーブル、決算、政策推進会議報告会

全体質疑

請願

請願者の意見を正式に聞く機会を実現

紹介議員

請願者

紹介議員

文教厚生委員会 (2017年9月4日)

紹介議員の説明と質疑が終了したあと、5分以内という条件で請願者から意見をお聞きしました。

ボタン表決

賛否の公開

議員ごとの賛否を表示

議会だよりで全議案の議員ごとの賛否を掲載

- 2005年3月から主な議案、2012年から全議案押しボタン式表決システムを導入
- 2014年6月議会
- 会議規則第70条（起立等による表決）に押しボタン式表決を規定。賛成、反対を明確にした。

●押しボタンによる採決後、議長は「投票総数・人、賛成・人、反対・人、よって可決・否決」と口述。

●可決同数の場合は、直ちに議長裁決とする。以前は投票を行っていたが、可決同数が明確であることから投票を省略することが可能となった。

会議規則第70条（起立等による表決）の第3項、4項に「押しボタン式表決」について定めた。

2018年3月27日の本会議では可決同数による議長裁決が3件あった！

所信表明

今期議長（結城弘明）の立候補の際の所信表明（2015年5月）

行動指針

前期に施行した議会基本条例に基づき、二元代表制の元、執行部とは建設発展的に議論し、可能な限りの議員総意を求め、その最良の意志に基づき即行動。議会内では建設的な議論を経てオリジナリティに富んだ古賀市議会の形成に努力

1 議会運営（判りやすい議会の構築）

- 議会の可視化の拡充
 - インターネット配信の有効活用と使用促進のための周知
 - 議会報に関する市民アンケート、必要かつ親しまれる広報
- 議員間の情報の共有
 - 庁内研修の充実
 - タブレット端末の有効活用や情報機器活用に向け執行部に働きかけ
 - 視察来庁には書簡の委員会は可能な限り対応し情報を得る。

2 まちづくりへの施策について

- にぎわいと希望ある古賀市を創る
 - 第4次総合振興計画後期見直し素案、まち・ひと・しごと創生総合戦略に対し特別委員会などの体制づくり
 - 人口増対策について三世代が定住できる環境づくり
 - 土地の有効活用で経済の活性化
- 積極的政策提言、執行部の評価・支援、県・国への働きかけ

改革の継続

議案修正、議員提案条例

総合振興計画に対する議会としての提言の経験

- 第4次総合振興計画に対する6点の提言（2013年2月臨時会）

予算関係の減額修正案可決の経験

- 当初予算案の海外視察費の減額修正（2013年3月議会）
- 補正予算案の保育所新設補助の減額修正（2013年12月議会）
- 当初予算に対する付帯決議（2014年3月議会）

議員提案による条例制定の経験

- 深夜花火規制条例の議員提案、可決（2013年6月議会）

深夜花火禁止

議場開放

夏休み子ども議場見学会 2017年8月19日

議場開放

夏休み子ども議場見学会

2017年8月19日

議場開放

夏休み子ども議場見学会

2017年8月19日

事務局強化

議事事務局体制強化を求める要望書を市長に提出
正副議長、議連正副委員長で手渡す（2015年1月15日）



2015年5月以前の状態

- 正規4人と再任用1人
- 業務の過重負担
- 5月に育児正規の復帰

↓

- 正規職員5人の確保
- 再任用1名の確保
- 議会基本条例施行に対応できる議事事務局体制の確立が大きな趣旨
- 産休対応を正規職員配置とする

前期

今期もこの体制は継続

2015年5月に実現しました

見える化

議会基本条例を反映した議会費の予算案へ
2018年度から2つの事務費を計上

議会審議・調査事務費

政策推進会議に関する経費を盛り込む

議会広報・広聴事務費

議会報、議会報告会に関する経費を盛り込む

44

後半の質疑応答

ご清聴ありがとうございました。
今後も情報交換、経験交流をお願いします。

45